

不用品を活かす方法あれこれ

不用品を活かすと言ってもその方法は様々で自分の目的やスタイルによって違います。その主な方法と特徴をまとめてみましたので参考にしてください。

●フリーマーケット

今では各地で毎週のように行われているフリーマーケット。開催される主催者は行政、公益法人、商店会、民間の団体など様々。家族や仲間と楽しくリサイクル！という方にお勧めです。



【特徴】

開催は週末や祝日に行われているのがほとんど。参加するには一定の条件があります（住んでいる地域、販売内容など）。費用は無料～3,000円位です。その他駐車場などの費用は要チェックです。公園などの公共施設などの開催が多く、お客さんとの直接販売ですので、楽しくお店ごっこをしながら、家族や友達とレジャー感覚で楽しめます。販売方法は自分次第。値段の設定や割引、最後はタダであげちゃうなんてことも。ただ、通常は屋外での開催の為、天候には左右されます。

【開催を知るには】

フリーマーケットの開催は各地で行われております。開催の情報は行政発行の広報誌、地域のミニコミ誌にその情報が掲載されていることがあります。現在はインターネットでの検索で開催情報が得られます。



【申込には】

フリーマーケットの開催は様々な団体が主催しており、その団体や会場により参加条件が異なります。会場を選ぶ主な要素は①スケジュール②地域③参加費用④規模の大きさ⑤駐車場の有無などがあげられます。他の出店者が少なく寂しかった・お客さんが来なかった・駐車場がなく苦労した・駐車場所からの荷物の搬入が大変だった・ブースが狭かった。などの苦労話がありますので、参加前に確認を。

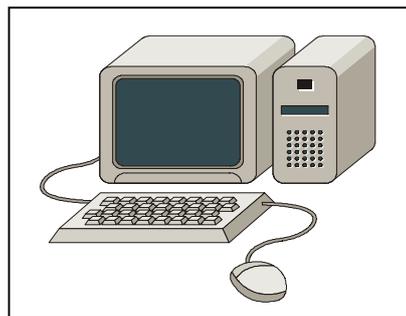


注意点！！

フリーマーケットはお客さんからの値切りがつき物。つつい安く販売してしまったなんてことにならないようにしましょう。また、お客さんは他人より先に良い物を探したがります。開店準備中のドサクサには充分注意しましょう。

●インターネット

インターネットによる不用品の取引も最近はかなり主流になりつつあります。24時間自宅でいつでもできる手軽さで、時間のない方におすすめ。



【特徴】

インターネットでの取引のため、インターネットを行う環境や知識がない方には向きません。インターネットは無限の世界ですから、多くの方に不用品を見てもらえる可能性があり、どこかにあなたの不用品を求めている人がいるかも。ただ、出品するにあたり登録手続きが必要で、売買するにあたりメールによる連絡や商品の受け渡し（送付など）、代金の受け渡しなどが必要ですから、小額の物には向かないかも。直接販売ではありませんので取引でのトラブルに注意が必要です。

【出品方法】

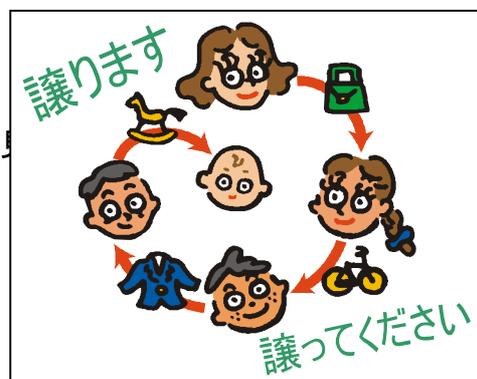
インターネットのサイト上で行います。出品にはオークション方式や定額での販売方法があります。出品するには大体出品者登録が必要です。かかる費用も様々で無料から登録料や手数料がかかるところがあります。

ただ、大手サイトは登録数が多いので、希少価値のあるものやブランド品など誰にでも欲しがられる物でないと、見てもらえない可能性もあります。

●不用品情報

市町村の広報誌やリサイクル施設などで「ゆずります・ゆずってください」という情報コーナーを設けることがあると思います。主に行政が行っているものがほとんどで、安心して利用できます。

（取引は自己責任です）



【特徴】

広報誌による「ゆずります・ゆずってください」は情報掲載に時間がかかる場合があります。また掲載したから引き合いがあるという保障はありませんので、不用品処分までに時間がかかるのが弱点です。掲載方法については様々ですが、行政が行っているものは安心して掲載できると思います。また市町村のロビーやリサイクルプラザなどで「不用品交換ボード」があり、そこに情報を掲載することができます。どこの市町村でも行っているわけではなく、また利用には在住者という条件もありますのでご確認を。

情報提供を行っている市町村

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会が19年度に各市町村にそのような情報提供があるかどうかをアンケート調査しましたので参考にしてください。「市町村組合の取り組み」で見ることができます。詳しくは該当市町村にお尋ねください。

●リサイクルショップ

各地にあるリサイクルショップを利用してみましょう。不用品の買い取り、引き取りなどを行っていますので、手っ取り早い処分が可能です。しかし買い取り金額はきちんと確認し、納得してからにしましょう。



【特徴】

リサイクルショップでの買い取りは直接持ち込む方法と、出張見積もりをしてくれる場合があります。基本的に商売としての買い取りですから金額はシビアなものです。

ただ気軽に買い取り金額を査定してくれますので、複数の店舗に持ち込んで査定してもらうことも可能です。複数の不用品を持ち込むと、店側が欲しいものと、そうでないものがあり、トータルではお金にならないケースがあります。その場合は詳しく値段を聞き、自分が納得したものだけ買い取ってもらうことも良いでしょう。リサイクルショップではニーズのない商品は処理費用を請求される場合もあります。

【お店は】

リサイクルショップは電話帳、インターネットでの検索で調べることができます。なるべく複数の店舗に連絡し、話を聞くほうがよいでしょう。商品によっては専門店もありますのでよく探してみてください。

●寄付

不用品を寄付として集めている団体等があります。不用品を社会に役立てたい方にお勧めです。これは主に福祉団体などが寄付していただいた不用品をバザーで販売し活動費等にしている場合と、NGO、NPOなどが援助物資として寄付を募っている場合があります。基本的には活動趣旨に賛同して不用品を寄付する訳ですから活動内容もよく理解して寄付しましょう。寄付品の内容は各団体様々です。一般の不用品から衣類・毛布などですが、海外への援助団体にはダンボール1箱につき送料千円の寄付をお願いしているところもあります。



【寄付先は】

福祉団体などは活動範囲が狭く広域な情報として出ていないのが現状です。団体がある周辺地域にチラシで呼びかけていたり、ミニコミ誌に情報が掲載されていたりしますが、バザー時期にあわせて不用品を回収したりしますので、不定期な場合が多く見受けられます。援助物資などは広く呼びかけられていますので、インターネットなどで検索し調べることができます。

●修理・リメイク

不用品の中には壊れたり、古くなったりして使えない場合などがあります。電化製品や家具、楽器、など修理すればまだ使えるものもあります。また、リメイクして使う工夫などもリサイクル（リユース）の楽しみです。費用は事前によく確認して、目的にあった修理・リメイクをお勧めします。



【修理店は】

修理店は電話帳やインターネットによる検索で知ることができます。

NPO 法人埼玉エコ・リサイクル連絡会が運営する「[彩の国リサイクルデータバンク](http://www.fuyo-hin.com)」
<http://www.fuyo-hin.com> では不用品の登録や、フリーマーケットの開催情報、
リサイクルショップや修理店の情報が載っています。是非ご利用ください。